令和３年度　中央区立久松小学校　外部評価報告書

評価委員：前田委員、関口委員、植田委員、五味委員、福田委員、酒井委員
川名委員、川口委員、村上委員、及川委員
報告書作成者：副校長　藤山　由仁

評価時期　　令和４年２月

１　重点目標の評価

重点目標１について　　「年間を通した教育課程の充実」
～教育活動の質の向上を図るカリキュラム・マネジメントの充実～

○　先日の研究発表会がとてもよく、先生方の準備そして努力がとても素晴らしかった。
○　昨年度から気になっていたタブレット端末の効果的活用が少しずつ見えてきたのが素晴らしい。
○　ＩＣＴ関係で推進していただきたいがそれと同時に子どもたちの姿勢や視力に関して注意していってほしい
○　展覧会もほのぼのしていてよい。
○　ＰＴＡの保護者の参画をどのようにしていくかが大事であると考える。
○　保護者の方も協力的で好ましい状況であると言う意見を読むと、久松小学校を応援している姿勢を感じることができる。

重点目標２について　　「豊かな心と健やかな体の育成」
～知・徳・体のバランスと調和を重視～　自立・協働・創造

○　このコロナ禍で教育活動を工夫しながら取り組んでおり、大変感謝している。先生方の努力の賜物であると考える。
○　このコロナ禍の中で、保護者の方の意見が良いものがとても多かった。先生方の努力の結果だったのではないか。
○　子どもたちもコロナ禍で協力して頑張っている話を聞くと、コロナ禍でも子どもたちは順調に成長しているのではないかと思う。
○　登下校のマナーが気になる。学校の指導はもちろんのこと、親の役割も非常に重要であると考える。
○　いじめや虐待などは見逃さないでほしい。
○　先生方は運動量確保のためにいろいろ思案してくださっているが、やはり運動をなかなか行えてないというのは今後の課題であると思う。

２　今後の改善に向けた意見

・　学校だけでは、子どもの教育は成り立たない。「家庭は、自主的に学習課題に取り組ませているか」等、家庭を主語にしたアンケート項目も作り、学校と家庭で何を連携すべきか考えていく必要がある。
・　教員の指導も手厚い。子どもたちの小学校生活は幸せである。一方、卒業した後に中学・高校と進学に伴い自力解決の場面も出てくる。卒業後にたくましく生きていく力も身に付けさせてほしい。